



いちかわし

第37号

平成20年1月1日

農業委員会だより

編集／発行 市川市農業委員会 市川市東菅野2丁目23番1号

(菅野終末処理場管理棟3階)

電話 047(325)0178 HPアドレス <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/agri/>

明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃、農家の皆様方には農業委員会活動の進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨夏は、記録的な猛暑と一昨年の長梅雨とは打って変わり、地球環境の変化も心配されるところでございます。

市川の農業も近隣地域同様、都市化の進展によって営農環境が悪化し、農業従事者の高齢化、後継者不足などで遊休農地が拡大してまいりました。

そこで、皆様方から寄せられましたご意見をもとに千葉光行市長に三十二項目の農業施策に関する建議をいたしました。

本年も微力ではございますが、農家の皆様のため、努力してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。



市川市農業委員会
会長 田中浩



謹んで新年のお慶びを申し上げます



農業委員会委員一同

渡邊	三橋	三橋	松丸	松丸	松丸	松永	堀	戸村	竹中	竹内	久保田	加藤	岡本	朝倉	高橋	田中
和昭	三三男	孝夫	房雄	裕紀	武夫	修巳	桂治	節子	秀忠	一雄	征一	武央	公一	徹男	成彰	浩

農業委員会事務局職員一同

農業施策について 市長に建議

市川市農業委員会は、10月24日、市川市長に建議書を提出しました。建議は、全10頁に及ぶものですが4つの柱にまとめております。

- 1・環境にやさしい農業の推進のために
 - (1) 農薬飛散防止対策の強化
(補助率の大幅アップ)
 - (2) 多目的防災ネットの導入の推進
(電や害虫対策)
 - (3) 減農薬・有機栽培の推進
(エコ農業への支援強化)



市長に建議書を渡す田中会長

- 2・後継者の育成のために
 - (4) 梨剪定枝炭化事業の改善
(利用率の向上)
 - (5) 園芸用廃プラスチック処理
対策補助の充実
 - (6) 産業廃棄物対策の強化
(残土等の不法投棄対策)

- (1) 認定農業者の育成と支援体制の強化
(組織化や情報提供、研修など)
- (2) 若年農業者に対する支援の強化
(教育や研修機会の提供)
- (3) 嫁・婿対策
(異業種との交流機会の設定)
- (4) 家族経営協定の推進
(男女協働参画・若年農業者の労働条件の明示)

3・農業経営安定化対策のために

- (1) ブランド化への支援強化
(高価格化・高品質化・販路拡大への支援、梨箱・シールへの産地表示の補助など)
- (2) 融資制度の充実
(必要な額

を迅速に融資できる制度)

- (3) 農業経営相談窓口
(相続税対策を含む)の充実
- (4) 農業雇用システムの充実
(職業訓練体制の強化・農業ボランティアの育成)
- (5) 災害時における支援体制の強化
(融資やポンプの貸し出しなど)
- (6) 農地税制の緩和
(宅地敷内の農機具庫などへの農地並課税)
- (7) 灌漑用水設備設置に係る補助事業の拡大
(2本目以上への補助)
- (8) 害虫・有害鳥獣駆除対策の強化
(捕獲用具の貸し出しなど)
- (9) 遊休農地対策の強化
(整備費の補助など)と利用集積の拡大
- (10) 市農産品のコマース化
- (11) ホームページ作成指導
- (12) 利用集積の推進
(遊休農地の防止、規模拡大を支援)
- (13) 小規模農業者のための直売所の設置
(高齢者や女性等小規模農業の振興対策)

農業者年金

「担い手積立年金」

農業者年金は、少子高齢化時代を迎え、農業者の老後の生活の安定のため、他の制度には無い安心できる制度です。

■**農業者年金制度の特徴は？**

■**積立式年金です**

■**農業従事者なら誰でも加入できます**

■**保険料も自由に選択**

毎月の保険料を選択でき、また見直しもできます。

■**税制面でも大きく優遇**

■**保険料に手厚い国庫助成**

農業者年金は国の保険料助成を受けられる唯一の政策年金です。

なお、ご不明な点については農業協同組合(JA)相談部または農業委員会事務局までお問い合わせ下さい。

4・市民との交流・協働で築く農業のために

- (1) 地産地消の推進
(学校給食への取り組み強化)
- (2) 農道の整備
- (3) 農地を囲う柵の美化と補助
- (4) 生産緑地の保全及び災害対策時の活用
- (5) 食育教育の強化・学童農園の普及拡大
- (6) 農業者と市民の交流機会の拡大(市民農園・体験農園・イベントなどの充実)
- (7) 農用地への理解を求める看板の設置(農薬散布・肥料への理解)
- (8) 朝取り野菜の普及・強化(食育・市民交流・小規模農業振興)
- (9) 都市農業振興条例の制定

市長が建議に回答

市川市長は、平成二〇年度市川市農業施策に関する建議に対し、文書で回答しました。回答文は紙面の関係から別紙で折り込みました。

田中会長が千葉県功労者に

田中会長が千葉県知事から文化の日・農林水産功労者として表彰されました。田中会長は昭和六十二年、農業委員に選任され、平成八年から会長として永年、都市農業の振興に尽くしてきました。



東葛飾地区連管内視察

市内のイチゴ園・花園へ

十一月二日、東葛飾地区農業委員会連絡協議会の管内視察が行われ、国府台の太田いちご園と大野町の石井花園に農業委員会会長さま

んや関係者が訪れました。

あいにく雨に降られましたが、みなさん、市川の農業に感心して帰られました。太田さん、石井さんご協力ありがとうございました。



太田いちご園



石井花園

標準小作料

現行のまま据え置き

三年ごとに見直しを行っている標準小作料が据え置かれることに決まりました。学識・地主・借主からなる「市川市小作料の標準額設定協議会」から、据え置きという答申がなされ、十一月の農業委員会総会で決定したものです。標準小作料は、あくまで目安です。

市川市標準小作料額 (10アール当たり)

農地の区分		小作料の額	備考
一律	田	19,000円	成園小作地に限る
	畑	25,000円	
	樹園地	60,000円	

但し、市街化区域内農地(生産緑地地区は除く)は適用しない。



お知らせ

農業者による意見交換会

今年度も開催決まる

農業委員会が一八年一月にJA市川市で開催した「農業者による意見交換会」を今年もやって欲しいとの要望が農業士等協会から寄せられました。そこで関係者と相談したところ、今年度も実施することが決まりました。

今回は農業士等協会と共催になります。「これからの都市の農業経営を考える」をテーマとした講演のあと、みなさんの要望をまとめ、市長に提出した「平成二〇年度市川市農業施策に関する建議」の説明や参加者からの意見発表やなどを予定しています。

期日 二〇年二月二八日(木)
時間 午後一時半から
場所 JA市川市3階会議室
※お問い合わせは、農業委員会



納税猶予を受けている方

継続届出 免除申請

提出をお忘れなく

贈与税・相続税の納税猶予を受けている方は、納税が免除になるまで3年ごとに「継続届出書」を税務署に提出しなければなりません。この届出書は本来、税務署から通知が来るものではなく、ご自分から提出するものです。従いまして届出書を提出する年をご自分で確認していただき、忘れずに税務署に提出してください。また、猶予期間が満了するときには、免除の申請が必要です。

お問い合わせは、税務署(電話 335-4101) 又は農業委員

会事務局まで

市農水産課から

梨剪定枝炭化について

市では、梨剪定枝の炭化事業を実施しています。

梨剪定枝炭化事業は、剪定枝を処理するだけでなく、出来上がった炭を土壌改良剤として有効に利用し、資源循環型農業を推進することが目的です。処理費用については市の補助もあります。詳しくは、農水産課まで。

農業新聞のご購読を

「全国農業新聞」は、全国農業会議所が刊行している農家のための情報誌です。みなさまもご購読されてはいかがでしょうか？

毎週一回金曜日発行、購読料月額600円(送料込み)購読をご希望される方は農業委員会事務局にご連絡ください。

今年も農業委員の改選の年です

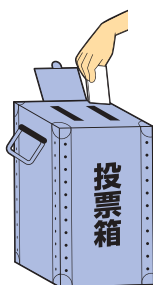
編集後記

わが国は、どこもかしこも少子高齢化。

ところが、これは人間の世界だけの話のようです。とりわけ、今年の干支のねずみは、子沢山だそうです。「貧乏子だくさん」とは言いますが、ねずみさんに限っては蓄え上手でもあるようです。

昨年のイノシシとは違って変わって、地道に積み重ねるイメージですね。

さて、今年も農業委員の改選の年です。お配りしました選挙人名簿記載申請書は必ず提出しましょう。



農業委員会だより編集委員

岡本 公一
竹内 一雄
枡丸 房雄